

施策の柱	施策大分類	施策中分類	成果目標	成果目標 (指標)	目指す地域の状態	基本理念
1 いきいきと健やかに望む暮らしができる環境づくり	1-1 健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりの啓発 ・健康手帳の交付 特定健康診査等 ・健康相談 ・健康教育 はり、きゅう、マッサージ等施設利用助成 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の心身の健康状態への関心が高まり、健康づくりや介護予防活動に取り組んでいる 	健康寿命 (平均自立期間) (KDB)(時系列)	高齢者が、一人ひとりに合った交流・活躍の場に参加し、介護・フレイル予防につながる活動に取り組んでいる (P.43. 目指す地域の状態①)	地域で支え合い、誰もが自分らしく、しあわせを感じながら歳を重ねることができるとともに、主観的幸福感、主観的健康観
	1-2 生きがいづくり・社会参加	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者学級 (率浦大学) シルバー人材センターへの支援 ボランティア活動の参加促進 老人クラブ活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりに合った社会参加を行っている 生きがいを感じながら生活している 	社会参加率(週一回以上外出している人の割合) (ニーズ調査) 生きがいがあると回答した人の割合 (ニーズ調査)		
	1-3 介護予防・重度化防止	<ul style="list-style-type: none"> 訪問型サービス ・通所型サービス 訪問型サービスB ・通所型サービスB 訪問型サービスC ・通所型サービスC 訪問型サービスD ・介護予防ケアマネジメント 一般介護予防事業 介護予防事業対象者の把握事業 地域介護予防活動支援事業 地域リハビリテーション活動支援事業 一般介護予防事業評価事業 	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防活動に取り組み、要介護状態になりにくくなっている 要支援状態等になってでも元の生活に戻ることが可能になっている 	要支援認定者における1年後悪化率 (時系列) (KDB) 新規認定者の平均年齢 (時系列) (見える化システム)	要介護状態等の改善・重度化防止を目指す取組が効果的に提供され、高齢者が望む生活を実現できている (P.43. 目指す地域の状態②)	
2 誰もが役割を持ちながら、つながり、支え合う地域づくり	2-1 総合相談体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> 相談体制の充実 ・実態把握 見守りネットワーク体制の構築 権利擁護事業 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者やその家族が困りごとを安心して相談できている 	心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人がいない人の割合 (ニーズ調査) 地域包括支援センターの認知度 (ニーズ調査)	高齢者が、必要に応じて、社会資源を活用し、支え合いながら、住み慣れた地域で生活している (P.43. 目指す地域の状態③)	
	2-2 暮らしを支える地域力の強化と資源の充実	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーター活動の推進 協議体活動の推進 地域ケア会議の推進 包括的/継続的ケアマネジメント事業 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な主体から支援が提供されている 多様な主体が連携して地域の課題を解決している 	社会参加率(週一回以上外出している人の割合(ボランティアや仕事)) (ニーズ調査) 生きがいがあると回答した人の割合 (ニーズ調査)		
	2-3 医療と介護の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療/介護連携推進事業 	<ul style="list-style-type: none"> 医療分野と介護分野の目的が共有され、在宅での生活が継続できている 	介護サービス全体に占める在宅系サービスの利用割合 (町調査)		
3 住み慣れた地域で暮らし続けるための安心・安全づくり	3-1 認知症施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)の推進 認知症ケアパスの作成/普及 認知症初期集中支援チームの充実 認知症相談体制の整備 ・認知症予防啓発出前講座 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症に対しての正しい理解が地域全体に浸透している 認知症になっても自分らしく暮らしている 	認知症相談窓口の認知度 (ニーズ調査) 認知機能低下割合 (ニーズ調査)	高齢者が要介護状態、認知症になっても住み慣れた地域で、安心・安全を感じながら、生活している (P.43. 目指す地域の状態④)	
	3-2 在宅生活の継続支援	<ul style="list-style-type: none"> 家族介護用品支給事業 ・給食サービス事業 タクシー利用助成 高齢者世帯等除雪支援事業(間口除雪) 家族介護慰労金支給事業 ・地域公共交通の充実 見守りシールの交付 ・緊急通報装置の設置 	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源を活用し、安心して在宅での生活を継続している 	介護保険サービス以外の支援・サービスを利用している高齢者の割合 (ニーズ調査)		
	3-3 介護サービスの質の向上と基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> 要介護認定の適正化 ・ケアプラン等の点検 縦覧点検/医療情報との突合 介護資格取得支援事業 ・介護職員就業(復職)補助事業 介護人材確保/育成事業者支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> 介護職員がやりがいを感じながら働きスキルアップしている 	職員の過不足感について適正水準を選択した事業所の割合 (町調査)		
	3-4 災害・感染症への備え	<ul style="list-style-type: none"> 個別避難計画の作成 ・福祉避難所との連携 自主防災組織との連携 ・感染症対策 	<ul style="list-style-type: none"> 災害や感染症への備えができている 	個別避難計画作成者数 (町の提出者数)		

「基本理念」から「目指す地域の状態」 → 「成果目標」 → 「施策」の順に逆算して設定

地域で支え合い、誰もが自分らしく、しあわせを感じながら歳を重ねることができるとともに、主観的幸福感、主観的健康観

指標
主観的幸福感
主観的健康観